

知事記者会見（平成21年4月28日）

●知事発表

- （1）平成21年度5月1日付け人事異動について
- （2）新型インフルエンザについて

●幹事社質問

- （1）知事就任一週間の感想について

●その他の質問

- （1）副知事人事について
- （2）日赤婦人会館跡地の再開発について
- （3）全国知事会の会長選について

時間：13：00～13：35

場所：県庁プレゼンテーションルーム

（幹事社）

では、定刻になりましたので、記者会見の方、お願いいたします。
知事の方から2つ項目、発表あるそうなので、2つ続けてお願いいたします。

（知事）

それでは私の方からは2点ほどお話をさせていただきます。
まず最初に、第3次、3回目というんですか、5月1日付で人事異動を行いました。概要は次のとおりであります。今回の異動は、部長級が6名、次長級が30名、課長級115名の計151名であります。4月1日付を加えますと、延べ202名ということになります。

主な内容でございます。部長級への昇任は、私が就任した時点での部長さんは全員が留任、そのほか兼任や事務取り扱いになっておりました部長職の空席のところに4名の次長級の方を昇任させております。

新しい職でありますけれども、公共事業全般の総合調整を行う県土整備技監（部長級）、もう1つは地球温暖化防止と新エネルギー対策を担当する温暖化対策統括監（次長級）を新たに設置をいたしております。

また、経済雇用対策は特に喫緊の課題でありますので、これに対応するため、産業経済労働部の地域産業課と雇用労働政策課などに新たな政策監を置いております。
女性については3名の女性職員を課長級に昇任させております。課長級以上の女性職員は合わせて15名となるようであります。

若手職員の抜擢であります。40歳代の若手職員を抜擢いたしまして秘書課や産業経

済政策課の政策監などに配置をいたしております。

以上でございます、詳細は人事課に確認をお願い申し上げます。

次に、いわゆる新型インフルエンザについてであります。今日、午前5時37分にWHO（世界保健機関）が新型インフルエンザ警戒水準であるフェーズ3からフェーズ4に引き上げ、国では午前7時に新型インフルエンザ対策行動計画に基づく第1段階、海外発生源に入った旨の宣言を行いました。また、内閣総理大臣を本部長とする新型インフルエンザ対策本部を設置いたしました。

これを受けまして、県では行動計画に基づき、秋田県新型インフルエンザ対策危機管理連絡部を設置し、全庁的な対応を図ることとしました。今朝までに世界の豚インフルエンザ感染者は、疑いも含めるとメキシコで1,995人、うち死亡者149人、アメリカで感染者41人等10カ国以上で報告されております。

しかし現在、日本や秋田県内において豚インフルエンザのヒトへの感染は確認されておられませんので、県民の皆様には冷静な対応をお願いいたします。

なお、流行地への渡航自粛をお願いするとともに、流行地からの帰国後10日以内に豚インフルエンザの感染が疑われる症状がある場合には、医療機関を受診する前に必ず保健所にご相談いただくようお願いいたします。

今後、秋田県危機管理連絡部は、随時、関連情報を発信いたしますので、ご注意くださいようお願いをいたします。

以上でございます。

(幹事社)

幹事社から先に幾つか質問させていただきますが、各社の皆さんをお願いいたします。先に人事異動についての質問をしてください。で、それが一通り終わりました後に新型インフルエンザの方に移らさせていただきます。

まず、人事異動に関してですが、今回、本庁部長全員留任ということですが、留任させたお考えというものをお伺いします。それともう一つ、新しい職を2つ設けていらっしゃると思いますが、そのねらいをお願いいたします。

(知事)

留任したというのは、異動させる必要がないということで、簡単であります。もう一つは、新しい職でありますけれども、この県土整備技監は、知事公室にいた・・・。

(秘書課報道監)

防災技監です。

(知事)

防災技監の方をこちらの方に向けた訳であります。

あと、この温暖化対策統括監は、これは全く、員数としては新しいポストです。

(幹事社)

2つの新しい職についての役割はここに書かれているんですけども、どういう重要性を持たせて職として設けられたのでしょうか。

(知 事)

県土整備技監は、国土交通省からお見えになっておりまして、今後、国の経済対策に伴って、公共事業の発注等が増加することがありますので、その調整を行うということが主体であります。また、様々な形で国土交通省と高速道路、日浴道の問題など大きなプロジェクトの関係がございます。私ども県内の大きな事業で国に要望しているものもございますので、そこら辺についてスムーズな形で意思疎通が図れるようにという考えであります。

もう1つは、この地球温暖化防止と新エネルギー対策であります。環境問題がよりクローズアップされておりますので、そういうことにより深い形で関与、特化して、リーダーシップを発揮していただくということで設置をいたしております。

(幹事社)

もう1つ、女性職員の登用、あるいは若手職員の方の抜擢というのを書かれておりますけれども、どういう期待を込めての登用でしょうか。

(知 事)

十年一昔と言いますけれども、今は三年一昔ぐらいであります。大半の幹部職員が50代半ば以上ということですので、10歳ぐらいというか7、8歳ぐらいで、二昔ぐらいの時代の飛びがあります。そういうことで、特に女性の感性、あるいは若い感性で様々な形でリーダーシップを発揮していただくということで登用をいたしております。国の場合は40歳前後が最前線でやっておりますので、地方自治体はどちらかということになっておりませんが、新しい言葉や新しい流れに対応するためには、やはり若い人も必要でございます。

また、女性の場合、これから様々な形でプランニングするにしても、男性では絶対わからない感性というのはある訳でありまして、そういうことを期待して登用をいたしております。

(幹事社)

各社の皆さん、ご質問あればどうぞ。

(記 者)

今回の人事異動で新しいポストがありますけども、政策監の方が増えたり、技監の方がいらしたりしていますね。これは、佐竹知事が就任後にお考えになったポストなんですか。まずこの辺をひとつ。

(知 事)

基本的にはこの2つについては相談を受けました。就任前からこういう方向でという話

がありまして、その後、相談を受けて、この中でこういうものということでもあります。
ただ、かなりなくなったポストもあります。人事課に聞いていただければ。

(人事課長)

防災技監がなくなっておりますし、各課に置いておりました政策監も、見直しして、なくしたところもあります。

(記者)

佐竹知事は就任前の選挙戦で、全体的に管理職の数が多いということをおっしゃっていたと思います。

(知事)

はい。

(記者)

今回の異動で、この管理職ポストというのは全体的に減っているのでしょうか、それとも今後また減らしていく方向なのでしょうか。

(知事)

増えはしませんけれども、残念ながら、大幅にも減ってはいません。ただ、増やさないという前提で、最終的には1名減っています。課の構成がそのままですので、やはり今年の場合は、組織そのものが変わってませんので、それを前提としての配置となる訳でありまして、そこら辺は来年度、大幅な機構改革等々の中で、今後そういう流れをつくっていかなければならないと思っています。

(幹事社)

ほかにございますか。

(記者)

就任前に相談を受けたというのは、どなたから相談を受けられたのでしょうか。

(知事)

人事の異動のときに、人事課が作業やりますので、誰かが言ったかわからないな、いっぱいいますので・・・。

(幹事社)

ほかにご質問ございますか。

(記者)

先程、部長職は異動させる必要はないというお話だったんですが、改めてその理由をお

聞かせください。

(知 事)

今の人で十分だということです。定年まであと1年の方もいらっしゃいますし、実際は11カ月ですが・・・現在の組織体制を今年一年を維持するとすれば、これまでの経験、あるいは来年以降の組織改正やその後の人事等々を全体的に見ますと、私が就任した時点で部長さんになっていた方は特に変える必要性といたしますか、必然性はないと判断しました。それで十分、指揮命令系統はきちっといけるということでもあります。

(幹事社)

ほかにご質問ありますか。

すみません、私からもう1つお願いします。

あの、副知事1人は内部登用というお考えを前にお話でしたけれども、あの、人選の方はいかがでしょうか。

(知 事)

まだ、議会はもう少し先でありますので、いつの議会にかけるのか、できるだけこういう状況ですので、空席は好ましくないと思えますけれども、もうちょっとという状況であります。

(幹事社)

内部登用といたしますと、普通は現職からの登用ととらえますけれども、もう一度庁内人事異動があるというとらえ方でよろしいでしょうか。

(知 事)

内部というのはどこまで内部なのか、関連機関も含めて内部なのか、そこら辺まだちょっと・・・フェーズでいくと2ぐらいです。まだ3になってませんから。

(記 者)

今回の人事異動にあたって、特にこういう点に留意してやってほしいという何か指示した点というのはございますでしょうか。

(知 事)

指示ばかりでなくて、全体の作業に私も入りました。一般行政になりますと、かなり幅広くなるんですけども、それぞれよく見てみると、意外と得意・不得意があるんですね。ですから、私はどちらかというとその人の持つ専門性だとか、そういうものをある程度重視しました。特に、産業行政だとか農業行政というのは、一定の専門性がないとなかなかできない訳でありますので、そういうところも踏まえた形です。有り体に申し上げれば、ある程度埋まっていたところもありますけれども、かなり大幅に直したところもあります。直したというか、私がこう入れ替えたところもあります。

(記者)

その際は、まあ12年前に県庁にいた経験等を生かしての作業だったということでしょうか。

(知事)

はい、大体その人の適正だとか、あるいは専門的なところ、もう頭の中にないところもありますけれども、まあ人事ですので、いろいろ経歴を調べたりしてやり取りすると大体わかる訳であります。もう1つ、特に次長なんかの場合、組み合わせも必要なんですね。片方は猪突猛進型だと片方はちょっと慎重型だとかですね、やはりそういうその相性もありますので、そういうところも踏まえて専門性、あるいは仕事をやる時のスタンス等々のバランスも考えたということで、かなり動かさせていただきました。

(幹事社)

ほかにございますか。

なければ新型インフルエンザの方の質問に移りますが、各社のご質問あればどうぞ。

(記者)

県内の家畜の豚は二十数万頭いるということなんですが、全頭検査というのか、県内のその豚の検査をする予定はありますか。

(知事)

はい、担当の方から。

(健康推進課長)

健康推進課です。豚の検査そのものは農畜産振興課が担当しておりますけれども、昨日の庁内連絡会議の場では、今のところそういう予定はないと聞いてございます。

(記者)

国の方、まあ農水省の方ですね、全都道府県にお願いするというようなんですが、まだそういう連絡はきていないということなんでしょうかね。

(健康推進課長)

今日、午後3時から、危機管理連絡部の会議がありますので、国の方からそういう連絡が入っているとすれば、おそらくその場で、関係課の方から発表になるかと思えます。

(秘書課報道監)

昼前の大臣会見で石破さんがしゃべっていました。

(知事)

まだ正式指示ではないんだな。

(秘書課政策監)

まだきてないです。

(知 事)

国の方とのやり取りも必要であれば、地域だけの問題じゃありませんので、日本全国統一した形になると思いますので。

(幹事社)

ほかにございますか。この件に関してはよろしいですか。

(知 事)

この件に関しては、随時必要により皆様方には、会見によらずにペーパーで随時お流しを申し上げたいと思います。連休にこれから入りますけれども、連休中も担当課は県庁にずっと、24時間体制で張り付きますので、連絡体制を連休中も密にしてということになるかと思えます。

(幹事社)

幹事社からの質問を1つお願いいたします。

知事就任されて1週間ちょっと経ちましたけれども、実感なり、ご感想なり、今のお気持ちを伺わせてください。

(知 事)

東京へあいさつ回りをしたりして、まだ各部局との個別の様々な仕事のやり取りはしておりませんが、僅かの時間ですが各部局の当面の課題と申しますか、懸案事項についてはレクチャーを受けました。いずれにしても、大体は秋田市長として全部把握していた事項でありますので戸惑いはありませんけれども、人事異動を5月1日付けで行いますので、それからが本格的な新体制ということになるかと思えます。職員の皆さんには、やはり先程お話ししたとおり、様々な仕事、表面的な仕事は誰でもできる訳でありますけれども、掘り下げていくとやっぱり専門性、知識、情報等々が必要でございます。昨日の県政協議会でもお話ししたけれども、できるだけいろいろ勉強していただくようにという言葉の端々にそういうことを出しながら、今、職員と接しているところであります。12年前とは大分違いますので、それがいいとか悪いとかと言える状況ではないんであります。まあとにかく、できるだけ積極的に、前向きに、元気よくやってもらいたいというのが私の希望であります。

(幹事社)

今あの、12年前とは大分違うというお話もあつたんですが、どこに一番違いを感じられていますか。

(知 事)

何といいますか、ちょっとこれは語弊があるかもしれませんが、やや形式的な感じになっているのかなということがあります。ルールというか、その一定の枠からあまりこうみんながはみ出さないようにということで、これはいい意味と悪い意味あるんですけども、やっぱり今の時代っていうのは、非常に仕事がオーバーラップしておりますし、境のところの仕事というのは非常に大切ですので、そこら辺は組織の問題もあるのかなと思うんですけども、やや組織防衛的になってるのかなと。そうじゃなくて、まず組織は仕事をするためにあるものでありますので、来年に向けて全体の組織機構を見直す中で、皆さんが元気よく大いに発言しながら、ものによっては殻を破るくらいの形での仕事ぶりができるような体制にしていきたいな思っております。

(幹事社)

各社ご質問あればどうぞ。

(記 者)

連休、ゴールデンウィークが近いんですが、知事のご予定をお聞かせください。

(知 事)

連休は、2・3・4・5・6日か、明日はメーデーがあります。2・3・4・5・6日のうち5日は公務入ってますね。あとは公務は入っておりませんので、少し休ませていただきます。ただ、別に遠く行く訳ではありませんので。

(記 者)

県内でお休みになる。

(知 事)

はい、県外へ出る予定はありません。

(記 者)

ちょっと最初の人事の話に少し戻るんですが、今おっしゃった来年度、大幅な機構改革を行っていきたく先程も今もおっしゃっていましたがけれども、今回の異動は、時間がなくてこういう形になっていますけれども、本来であれば組織のあり方も含めて見直した上で人の配置もした方が当然よいというふうにお考えな訳ですか。

(知 事)

もう既に仕事は1ヶ月といえどもスタートしています。

それともう1つ、知事公室のお話はありましたが、知事公室が非常に大きくなっていますので、知事公室が動くということは、かなりの部がまた別に動くということで連鎖していきます。そう短い期間ではできないということで、この後、知事公室と総務企画部が中

心となって組織のあり方についてかなりいろいろ議論をさせていただくということで、知事公室、あるいは総務企画部の次長さんあたりはそういう形での人選をしております。

(記者)

今回の異動でという形だと。

(知事)

はい。

(記者)

それとあと、若干繰り返しになるかもしれませんが、今回の異動自体を知事として全体総括すると、どういったねらいのどんな異動だというふうに考えておられますか。

(知事)

部長さん方についてはですね、現状の形ということで、あとは補充をさせていただきました。補充のところでも、若干私なりの意見を出させていただきました。次長級、課長級については、大半がわかりますので、先程、お話ししましたけれども、私はどちらかというと人を評価する尺度というのは必ず専門性と適性、これがまず第一でと考える訳でありますので、そういう点で、できるだけその仕事を深く追求していても、それに対応できると、そういう視点を結構重視したつもりであります。

(記者)

ご自身の佐竹カラーというのは出せたというふうにお考えですか。

(知事)

まあ出せたかどうかはわかりませんが、やはりちょっと専門的なところに行きますと、つかえるという傾向が職員の中にややあります。そういうことからすると、もうちょっと勉強していただかなきゃならないということで、勉強できるような体制、今までの仕事の流れ、あるいは適性も踏まえて、この後もっともっと勉強していただくという、そういう視点も人事には反映させていただいたつもりであります。私のカラーかどうかわかりませんが、私の場合は、歳はまあある程度、関係しますが、秋田市役所のときに大体、すぐそばで仕事した人がどこの出身でどこの学校でどこの大学か最後まで知らなかったという人はいっぱいいますので、私はあんまりそこら辺は考えません。

(幹事社)

ほかにご質問。

(記者)

ちょっとまた人事の話なんですけど、あの寺田前知事は、最後まで人事をやっていくと言っていましたが、要するに今回、佐竹知事が人事異動を行うにあたって、前の寺田知事が

残したような案というものはあったのでしょうか。人事案というか。

(知 事)

寺田知事が残したかどうかわかりませんが、一応最初の案には、大半そこに名前が入っておりました。それは確かであります。ですから、先程お話ししましたとおり、それを十分見ながら、2日間にわたってかなり私なりに案を手直したというのか、私なりにそれについて相当動かさせていただいたということは確かであります。

(記 者)

あの雑把でいいんですけど、そのもともとあった案を何割ぐらいをいじったのでしょうか。

(知 事)

例えば、技術系だとかそういう専門職というのはこれは動かしようがないところがありますね。ただ、一般にしてはどのぐらいなんですかね、そのポストによりますけれども、次長さんクラスと、あと、主要な課長さんクラスだと、まあ3割ぐらいかな。

(記 者)

3割ぐらいは動かしたという。

(知 事)

いや、これ、つかみですよ。もう何人何人っていうのは、あとはないですから。

(幹事社)

ほかにご質問あれば、あとお一方、お願いします。

(記 者)

日赤婦人会館跡地の再開発についてなんですけれども、簡単に知事のお考えをお聞かせいただけないでしょうか。

(知 事)

都市計画関係の手続きはもう終わっております。ただこれから内容について入る訳ですが、大きくりの内容は決まっております。秋田市の市長さんも変わりましたし、市の方でどういう形でその中身を詰めてくるのかということがあります。私はまだ、そこまで、今レクチャーを受けてませんが、一応美術館という方向で流れておる訳であります。全体としてはある程度の方でできておりますので、いろんな調整、あるいは手直しはあったとしても、私はこれを全く白紙にするなんていうことは考えておりません。これはそう簡単にはできない、やるべきでない、やった場合、誰が責任持つかという話にもなりますしね、ですからこの種のものには軽々に議論をすべきでないですね。やっぱりきちっと前後も踏まえて、状況を踏まえて、新しい市長さんも方向的には、前進をさせたいという

ことを言っておりますから、当然その時その時によって論を詰めていく段階でいろんな変更だとか、そういうものはあり得るんですけども、トータルとして県都の顔ということで、経済情勢も見ながら進めてまいりたいと思います。

(記者)

白紙にするということは、まあやるべきでないというその根拠をちょっと教えていただけますでしょうか。

(知事)

白紙にするということは、それじゃあ誰が今までの流れに対して責任を負うのかということになりますけれども、少なからず民間の方もいます。2月の段階で県と市と民間、商工会議所が合意した上で、法律手続きにもう入った訳であります。ですから、これについては前の知事さんもそういう方向で考えていましたので、前の知事さんの時に私も秋田市長でございましたので、その段階で、大きくりな方向性として合意した訳でありますので、それが私が市長から知事なったとって突然覆すというのは、これ非常におかしなことであります。今の市長さんも、これは進めるという前提なものですから、これは県としては今までどおりのスタンスだと、そういうふうに解していただければ結構です。

(記者)

あともう1点お願いしたいんですけども、県の方でその取得を予定している県立美術館なんですが、そちらにそのどういったコンセプトを望まれるかということをお願いします。

(知事)

これはまだ私も・・・市の方はよくわかるんですけども、県の方はまだこれからでありますので、当然これからその具体策を、秋頃までかな、まとめていく段階で十分吟味をさせていただきたいと思います。

(記者)

来月、全国知事会の会長選があると思うんですが、現時点では麻生会長の3選が有力というようなお話もあるようなんですが、知事の会長選に向けての対応についてお聞かせください。

(知事)

何人か、複数出ていらっしゃるとまた選択っていうのはあると思いますけれども、そこはまだまだ出てませんので、まだ今のところ白紙です。

(記者)

そうすると、選挙戦になることの方が望ましいというようなお考えでしょうか。

(知 事)

いや、望ましいとか望ましくないとかではなく・・・市長会の方も選挙戦にならなかったようですけれどもね、結局、大変な時代なものですから、本来は、いっぱい出てやっていただければ一番いいんでしょうけれども、なかなか、そういう時期に手を挙げる人がいないんですね。

(記 者)

知事は、就任されたばかりですけれども、例えばご自身が出馬されるというようなお考えはありませんでしょうか。

(知 事)

まだ1年生にもなっていないような状況で、知事会というのは出たことがない訳ですから、これから勉強させていただくということですね。

(記 者)

すいません、もう1つだけ、日赤跡地を白紙にすべきでないというお考えだということですが、土地の権利変換が、これがうまくいかなければ、白紙にするしないじゃなくて進まないという可能性も今後あり得るのでは。

(知 事)

権利変換はできますよ。できると思います。

(記 者)

できますか。

(知 事)

はい。そういう形での計画になっていますから、そういう方式でやっていますから。

(記 者)

9月にそういったことの見通がついて、もっとさらに先に進めるという。

(知 事)

大半が公共で、民間の部分をかなり軽くしてはいますが、しかしながら民間部分は現にある訳です。こういう経済情勢もありますし、民間部分がその一定の流れというか、そういう状況でいかないことには、公共の部分だけ先走りはできませんから、そこら辺のこれからの確認はあります。いずれ、この秋頃までは一定の基本的な計画は詰めなきゃなりませんから、その段階でいろいろな手直しはもしかしたらあるかもしれません。

(幹事社)

そろそろお時間ですので、終了してもよろしいでしょうか。

では、これで終わります。ありがとうございました。

(知 事)

あの、新型インフルエンザ関係については、いろいろこれから県民の皆さんへの情報提供等々について皆様方のご協力をいただかなければならない状況も多々ありますので、ひとつよろしくお願ひ申し上げます。